

栄村総合振興計画 後期基本計画（素々案）[概要版]
 に対して寄せられた意見等と村の考え方について

募集期間：令和3年7月7日（水）～7月31日（土）

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
全体	<p>村のいままでの取り組みで学んだことを踏まえて、更に目標に取り組む内容が紹介された節のところに入れた構成にならないか？ それに合わせて財政の裏付けの構成比較があるとわかりやすいのでは。 また、各政策で、国・県の指導のあるもの、村単独で行うもの、新規の取り組み等の色分けがあったらどうか。</p>	<p>計画の各節立てについては、【現状と課題】・【施策の方針】という構成としたい考えです。 今回策定する基本構想・基本計画はこれからの村の方向性を示すものであることから、各事業に対する財源や補助・単独の別といった具体的内容については、今後の実施計画策定において検討し記載していくこととなります。</p>
全体	<p>1 計画の表現はすべてポジティブ（肯定的）な言葉を使う方がよい。 2 役場内の組織、関係機関さらに村民がお互いにもっと連携を図れば、効率の良い行政運営が可能になるし効果も上がる。 3 村内外の人的資源を大いに活用してほしい。 （1）積極的に行動できる若い人材の育成と活用する。 （2）中高年齢層には深い知識や経験を持つ人が多いので、そういう人の活動の場も合わせて検討願う。</p>	<p>1については、ご意見のとおり対応いたします。 2については、行政運営の充実と効率化を目指し取り組んでいきます。 3については、第2部第1章「第3節 行政運営」【施策の方針】において、人材育成について取り組む考えです。また、(2)については、第2部第5章「第2節 地域を育む」【施策の方針】において、つながる場の確保を進める考えです。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・この村に諦めムードを感じています、学校や就職で出て行った子供たちに何にもないから帰って来るなくらいの勢いで親は話している様に思います。 ・本当に何もいいのか？なかったら作れば良い。 ・だって小滝集落が有るじゃないか、見習わなくてよいかから競争しよう。 ・高齢化率53%の村、高齢者に働いてもらおう、知恵を貸してもらおう ・きっと村の現状を憂いてる人はいるはず、皆集まろうそして皆で考えて実行しよう。 ・栄村には縄文時代千年間を生き抜いた人たちが居ただ。 ・暗い、寒い大雪の中じっと耐え春を待つ忍耐力がある、そして気持ちを癒してくれる自然がある。 ・さあ人任せはやめて自分で立ち上がろう。 	<p>今回、基本構想についても前期基本計画から見直しを行ないました。将来像テーマを「一人一人が希望に満ちた生き方創造できる村」として、5つの基本目標と指針を掲げて取り組んでいきます。</p> <p>村民個人や地域が主体的に活動できる環境を整え、村民と行政が連携して将来に自信と希望を持てる村を目指していく考えです。</p>
全体	<p>第1章人口対策と産業振興～第5章集落支援と行政で、「施策の展開」とあります。計画実施を図るには、更なる具体策を打ち出すようにしなければ、いつになっても展開の進展はみられないでしょう。</p>	<p>総合振興計画の基本構想と基本計画は、村が目指すべき方向性を示すものであります。今後この計画を基に毎年度具体的施策について、実施計画及び予算編成において検討していきます。また、この計画の進捗状況と事業検証を行う予定です。</p>
計画の趣旨	<p>「震災以降、村の人口減少に歯止めがかからず～将来の村づくりにさらなる対策が求められている。」栄村の将来像のイメージが必要ではないか？</p>	<p>第1部第1章の「1 計画策定の趣旨」の中でも記載しましたが、同第4章において「1 将来像のテーマ」と、「2 基本目標と指針」において記載し、イメージできるように修正しました。</p>
計画の趣旨	<p>1 計画の趣旨について、以下のとおり下線部を変更する 17行目：価値観の変化等にに伴い⇒価値観の変化等が起こっているため 20行目：策定するものです⇒策定します ※ 国語の問題。</p>	<p>文章の見直し及び修正を行いました。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
将来像のテーマ	<p>「一人一人が希望に満ちた生き方を創造できる村」を将来像のテーマにしていますが、具体的にどのような内容なのですか。【施策の展開】を何度読んでもイメージがわいてこないのを教えてくださいませんか。</p> <p>施策の展開に、言葉尻を取り上げるつもりはないですが、「進めます」「図ります」「支援します」などさまざまな表現がされていますが、それぞれどのように具体化し、実行していくのか説明が欲しいです。どのように実践すれば可能になると思っていますか。</p>	<p>第1部第4章の基本構想部分を見直し、基本目標と指針を記載するとともに、第2部の基本計画にも指針を記載し、目指すべき村の方向性がイメージできるようにしました。</p> <p>この計画は村の方向性を示すものであることから、具体的な事業については、今後この計画を基に毎年度財政状況等も考慮しながら実施計画及び予算編成において検討していきます。また、この計画に沿った各施策の進捗状況と事業検証を行う予定です。</p>
将来像のテーマ	<p>1 将来像のテーマに下線部を挿入する</p> <p>「一人一人が希望に満ちた心豊かな生き方を創造できる村」</p> <p>※ 恵まれた自然環境や歴史・文化を再認識すると心豊かになると考えられる。</p>	<p>「一人一人が希望に満ちた生き方」という表現には、「心の豊かさ」だけではなく、身体的要素なども含めた広い意味で表現していることから、現状のままとしてほしい考えです。</p>
施策の体系	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標1 金を生み出す ・基本目標2～5は金を使う *金を生み出さないと2～5はいくら良い考えがあっても出来ない。 ◎栄村で必要な事、人口の増加により金を生み出す事ではないでしょうか。 その為には、農林畜産、商工観光、企業誘致は栄村が即手を出せる産業と思われる。 *基本目標1へ60～70%の力を入れ、2～5は残りの力を入れる。 	<p>税収入が乏しい現状で、村の産業振興や企業誘致等による収入の増は必要と考えます。また、「収入あつての支出」が原則でありますので、交付税や補助金など財源の確保と併せて、収入を増やすための各施策に取り組んでいきます。</p>
施策の体系	<p>IV施策の体系について、以下のとおり変更する</p> <p>左から2行目：人口減少・少子化高齢化対策⇒若者の定着・人口増対策</p> <p>※ ポジティブに表現した方が良い。</p> <p>第4章の施策項目のうち、第8節自然保護と景観を第3の第4節とする。※ この項目は教育委員会の所管になるのでは？</p>	<p>施策体系について全体的に見直しを行ない、ご意見のとおり、ポジティブな表現としました。</p> <p>計画の構成において所管毎に章立てしているものではなく、基本目標に沿った項目で構成しています。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
<p>施策の体系</p>	<p>将来像のテーマ「一人一人が希望に満ちた生き方を創造できる村」（すばらしいテーマです）。→人口減少・少子高齢化対策</p> <p>☆テーマを実現するためには、施策項目が必要でしょう。そして、その項目で何を重点的に進めていくのかを明確にしないと、施策評価、検証及び次期の課題も見出せないでしょう。</p> <p>例えば、「くらしの実践その1」の展開。 私生活や職場で、ちょっと工夫（前より少し良くしたこと）してみたことを村民や他地域の人に紹介。 ・その発表の場を設定（毎年1・2回） ・広報さかえや妻有新聞にも掲載。</p> <p>☆「基本目標」→「施策項目」とし、各項目ごとに「くらしの実践その1」の展開を図るようには、どうでしょう。</p>	<p>総合振興計画の基本構想と基本計画は、村が目指すべき方向性を示すものであります。具体的な事業・施策については、今後この振興計画を基に毎年度財政状況等を考慮しながら実施計画及び予算編成において検討していきます。また、この計画に沿った各施策の進捗状況や事業検証を行っていきます。</p> <p>頂きましたご意見は、今後の実際の行政運営の参考とさせていただきます。</p>
<p>P8移住・定住の促進</p>	<p>②移住・定住の促進</p> <p>・行政だけでなく地域住民や先輩移住者などとも連携しながら、移住希望者に対して栄村ならではの魅力を伝えることで、移住の実現を目指します。</p> <p>⇒昨年度2組の移住希望者の方と面談させていただきました。2組とも移住してくださり、今も交流が続いています。移住前に生の声を聴くことはとても重要であり、その後ちょっとした質問等もしやすい関係作りが大切だと考えます。また、移住して終わりではなく、1年間程は集落に世話役をつくるというようなアフターフォローもあると定住へとつながると思います。私自身、集落に頼れる方がいることが今につながっていますし、困った時に気軽に相談できる方の存在がとても重要です。</p>	<p>移住者とのコミュニケーションを図り信頼関係の構築を図っていきます。また、移住後のアフターフォローについても取り組んでいきます。</p> <p>【施策の方針】に「移住後の支援」について追記し、施策を展開していきます。</p>
<p>P8住宅対策</p>	<p>・新築住宅や中古住宅、空き家の購入に対して支援します。→毎月発行している「広報さかえ」にコーナーを新設。役場の〇〇課で紹介。</p>	<p>「広報さかえ」で住宅の購入支援制度等に関する情報提供を行います。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
P8結婚対策	<p>・結婚した夫婦へ祝金を支給（これは具体策でよいでしょう） ☆具体策を提示することで、計画の評価及び次期課題も見えてくるものと思います。</p>	<p>結婚対策については、個人のプライベートな部分が多く、村として結婚希望者のニーズに合った多種多様な出会いの場の創出を図っていく考えです。 施策の具体策については、今後の実施計画及び予算編成において検討していきます。また、この計画に沿った各施策の進捗状況と事業検証を行う予定です。</p>
P10農業	<p>①農業 ・地域資源や特性を生かした生産計画を作成し、豊富な山菜資源を活用して、直売施設などでの販売や学校給食、宿泊施設などでの地産地消の取り組みを行い、ふるさと納税などの活用し地産外消を展開します。 ⇒1. 学校給食への利用について、昨年度から保育園、今年度から小学校、中学校への仲介をしています。現在世界各国、日本各地で有機給食 （参 照： https://news.yahoo.co.jp/byline/inosehijiri/20200928-00200379）が広がっていることもあり、栄村でも有機給食を導入することができないかと考え始めたのがきっかけです。昨年度まで、有機給食導入以前に、学校給食で村の野菜が使われていないことを知り、私にできることがあるのではと思い、保育園と、村の農家さんをつないだことから始まりました。昨年度末に教育委員会から、小学校、中学校へもという話もあり今年度からできる範囲で村内の野菜を届けていますが、使用量はごく少量のため、手数料を頂いてもガソリン代にもならないのが現状です。地産地消の取り組みを行い～とありますが、どのように継続的に取り組めるようにしていくのか、急速に検討していく必要があると考えます。</p> <p>⇒2. 『ふるさと納税の活用～』とありますが、地産外消を考えるのであれば、栄村の特産品のネット販売を考えた方がいいのではないのでしょうか？栄村のアピールにもなりません。ふるさと納税では、見る人が限られます</p>	<p>認定農業者や生産組織などとの意見交換を行いながら、地域特性のある特産物などの生産について取り組んでいきます。また、直売施設などや学校給食などへの活用につきましても、関係課と協議しながら地産地消のできる取り組みを検討していきたいと思っております。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
P10 農業畜産業	<p>③畜産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機農業の推進に合わせ、堆肥の利用促進と供給体制の充実強化を図ります。 <p>⇒『有機農業の推進に合わせ～』とありますが、①農業で有機農業について何も明記がありませんが、有機農業についてはどのように推進していく計画でしょうか？これからの農業をどうしていくのかを考える時だと思います。SDGsの目標 11～15 に当てはまり、農薬、化学肥料を使わないことで、子ども達の健全な育成、自然保護等にも繋がる問題です。有機農業についての研究、有機農家支援等、農業で特徴を出すことで移住者も呼び込む可能性があると考えます。</p>	<p>農水省では、緑の食料システム戦略を策定し、2050年までにノーカーボンによる食料供給システムを構築を行うことが決定されています。村としても今後どのような取り組みを進めていくことが必要か検討してまいります。堆肥の供給につきましては、農家への補助金制度を創設し、機械整備も行い推進を図ってきているところです。引き続き村内製造の堆肥の供給を中心とした有機栽培は、推進していきます。長野県認証制度、GAPや有機JASの認定制度による有機栽培の推進について、希望する農家等があれば助成費用なども今後検討していく必要があると思います。</p>
P10 農業・林業	<p>1 農業と 2 林業の中の鳥獣害対策について、一括して「3 鳥獣害対策」として独立した項にする。</p> <p>※ 建設産業課で担当する事項であり、一括して対策を考える方が現実的だと思われる（補助金によって分けるべきではない）。</p>	<p>今後策定する実施計画や予算要求の基本となる計画であることから、各事業ごとに記載しています。</p> <p>実施体制は一括して農政課で対策を考え対応していきます。</p>
P9 P10	<p>私の目指す村の将来について書きます。</p> <p>1. 村の中心産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やはり農業で米作りを中心とする。米作りも低農薬、有機肥料による栽培、無農薬、無肥料など色々な付加価値を持たせ単価を高額な物にする、勿論全部ではなく今までの米作りも行う。 ・今、栄村のブランドになっている加工用トマトの栽培は広げ、ジュースだけでなくケチャップなどの加工品の製造販売を広げる。 ・個人宅で作っている野菜については、今でも直売所での販売をしているが、野菜単体の販売ばかりでなく、直売所内に在る厨房を使い地元で昔から伝わる料理の製造販売。毎日だけでなく定期的に野菜を集めて産地直送の低農薬野菜として契約した都会の家庭に販売する 	<p>第2部「第3章活力ある村づくり」「第1節 農業・畜産業」の【施策の方針】において、水田を今後も守っていく方針を記載しました。</p> <p>生産者の皆さんが積極的に生産拡大、加工販売や通信販売等特色ある農業経営に取り組む事について村は支援していきます。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
	<p>・耕作放棄地の利用として雑穀類の生産、耕作放棄地の利用は植え付けまでに手間のかかると思われますが、獣と人の住む塚を再生する為にも行う。雑穀類も現在の健康食品ブームにのり販売できないか。</p> <p>これらは、個人や生産組合で行うのではなく、一つの会社組織にして、製造に携わる人、出来た物を販売する営業部門までをもつ。村民は自分の農地を出資（無償）して自分はその社員として働き、働きにあった報酬をもらう、仕事については年齢や個人に応じて、機械のオペレーター、田んぼの管理人、加工品の製造、など出来るだけ幅広い年代の人に働いてもらう。報酬については年齢や仕事の内容を考慮して格差をつける。</p>	<p>村内の水稻生産者の中には、「趣味や生きがい」として人々や、自分で育てた米を自分で食べたい、親戚等に食べてもらいたいといった方も多くおられます。しかし、これからは少子高齢化により農地を守っていくためには、頂いたご意見のような取組みも有効だと考えます。まずは、各地区の生産組合等が連携できる体制づくりから始める事が必要であると考えます。</p>
P11商業	<p>①商業</p> <p>・加工品や生産物をふるさと納税の返礼品とすることにより、村外からの消費需要の拡大を図り、村民の生産販売意欲の向上を目指します。</p> <p>⇒先にも述べました通り、ふるさと納税の返礼品では、村外の方に目に留まる数は少ないです。ネット販売の検討が必要と考えます。</p>	<p>第2部第3章「第3節 商工業」に整理し、【施策の方針】を見直しました。</p> <p>ふるさと納税の返礼品についても、生産能力や生産数が少なく提供できない物もあります。今後は、生産から販売まで一貫した体制について生産者等と一緒に検討していきたいと考えています。</p>
P11スキー場	<p>③スキー場</p> <p>・村民マレットゴルフ場の整備を行うなど、オフシーズンの活用を研究します。</p> <p>⇒マレットゴルフ場の稼働率はどれくらいなのでしょう？マレットゴルフ場の規模を減らして、キャンプ場は検討できないのでしょうか？</p>	<p>今年5月の連休からスキー場でマレットゴルフ場を運営しており、毎週土曜日に愛好会による定期練習、その他個人で練習に訪れている状況です。マレットゴルフ場の規模縮小は難しいですが、コースとして使用していない部分でのキャンプサイト造成は考えられます。</p> <p>第2部第3章「第4節 観光業」「2 スキー場」の【施策の方針】において、グリーンシーズンの取組みを記載しました。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
<p>P11～12 観光業全般</p>	<p>2 温泉・宿泊業または4 誘客・宣伝に次の項目を加える。 ・栄村の魅力を経験できる継続可能なイベントの開催 (例えば、「栄村の四季を感じる小さな旅、春・夏・秋・冬」など) ・案内人若しくはガイドを育成したあかつきには、ビジネスとして活動できる体制を整える(福祉・医療の一環としてトレッキング、登山などを活用するの案)。 3 スキー場【施策の展開】に次の項目を加える。 ・村民(特に高齢者)に利用しやすい環境を整える (例えば、レンタル品無料、村民スキー教室の定期開催など) ・福祉・医療分野と連携し、健康寿命を延ばす取り組みを行う。</p>	<p>・第2部第3章「第4節 観光業」「4 観光イベントと情報宣伝」の【施策の方針】において、四季を通じて村の暮らしを経験できる企画の提供について記載し取り組んでいきます。</p> <p>・ガイドについては養成の結果、収入の一つとなるビジネスになるよう検討していきます。</p> <p>・第2部第3章「第4節 観光業」「2 スキー場」の【施策の方針】に、村民がより一層利用しやすい環境を整え、村民の利用促進を図る旨を記載し取り組んでいきます。</p>
<p>P11～12 観光業全般</p>	<p>2. 観光産業について 農業と並ぶ中心産業の一つとして観光にも取り組みます、ただ観光は世の中の景気に大変左右されるので難しい点もある。ただ観光資源としては、充分すぎる位の資源が有るのでこれを使いたい、ただ使い方も注意が必要。 ・村内に現在存在する、温泉施設その運営は民間に委託されていますが、施設の修繕などについては村の負担、更に赤字が出た場合の補助金など全く至れり尽くせりですが、施設はどれも古くこれから益々修繕費用が嵩むと考えられます。ならばいっそ運営を元に戻し全部の施設を一元管理する。</p>	<p>ご意見のとおり、村所有の温泉観光施設が6施設と多く費用を要する状況です。観光施設の運営については、振興公社解散後、民営という形で進めてきましたが、今後の施設の運営についてご意見も考慮させていただき検討していきたいと考えております。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
<p>P11～12 観光業全般</p>	<p>・それぞれの施設はその設置場所、施設の内容により営業方針を決めてそれぞれに特色を持たせる。トマトの国近くにスキー場、それに隣接する現在、絵手紙美術館になっている体育館、食堂の建物内の2階の広い部屋などを使い、学校の部活の合宿を誘致してその宿舎としての役割をメインに仕事で村や周辺の村にきて滞在する為の宿、地元村民の宴会場所。従って料理などについてはごく一般的な食堂でも食べられるような食事にする。通常宿に準備されているタオル類や歯磨きは置かず、必要な方には販売、寝具の扱いもお客任せ、ただ長期滞在者の場合の寝具類（シーツ、マクガ-）の扱いは研究が必要。安い価格で快適に過ごせる宿を目指す。地元住民の為に行っている日帰り入浴は継続するが、年間スポーツの価格はきちんとした原価計算の元に決める。</p> <p>北野天満温泉</p> <p>・トマトの国は合宿所的な宿にしたので、ここは家族や会社の仲間などが栄村の観光で訪れて宿泊するような宿を目指す、宿泊は一泊ないし二泊として、料理は地元野菜を使った季節毎の料理、ジビエ料理などでちょっとだけ特別感を出し、その分宿泊代も、勿論トマトの1.5～2倍位を目指す、何よりもリピーターが欲しいので季節料理を工夫して今度は違う季節に来てみたいと思わせる。地元の人々の忘新年会、同級会などの宴会を受けやはりトマトより高めの料金設定にして料理もそれなりの物を出す。日帰り入浴については話を聴くと宿泊客の中には、日帰り入浴と一緒にする事を嫌がる人もいるようなので、浴室を分けるわけにもいかず、日帰り入浴は日中のみ17時くらいからは宿泊客専用にする。</p>	<p>現在、のよさの里以外の施設は民間事業者へ指定管理委託を行っています。観光施設の営業方針等については、その運営者・経営者により施設の特色を出して誘客に努め持続的経営を図って頂いているところであります。</p> <p>必要な施設について持続的経営ができるように、今後の各施設の運営についてご意見も考慮させていただき、村と指定管理者、また村民の協力を得ながら検討していきたいと考えております。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
<p>P11～12 観光業全般</p>	<p>小赤沢楽養館 ・今までどおりの日帰り入浴と食事の店、季節により登山者が下山後入浴や食事に訪れると思われるので、地元ならではの料理の他、大衆食堂のメニューに有るラーメン、かつ丼、カレーなどあれば良い。その他地元の素材を使った名物料理を作る。</p> <p>上野原のよさの里 ・造りから隠れ家的な宿として企画する、鳥甲の勇壮な眺めもアピールし、一番は離れ構造の宿だから秘密が保たれるなど怪しさ満載。 ・料理も豪華なものだけど地元料理も入れて高級な宿感をだす。 ・施設の目玉商品にする。</p> <p>切明雄川閣 ・夏場は川原に湧く手造り温泉をメインにする。 ・江戸時代の湯治場から続く歴史の有る温泉。 ・秋山郷の最深部に位置して昔、群馬のマタギも入浴に来た宿。 ・やはり川原に湧き出る温泉を中心に「のよさの里」よりは安く、北野天満温泉と同程度の宿とする。 ・溪谷の中で春の新緑、秋の紅葉を満喫して頂き、料理は雑穀を使った料理なども混ぜて、牧之が秋山記行に載せた料理なども再現する 料理を全部昔の物に統一しても現代人には受けないと思うのでそのバランスは程々に</p>	

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
	<p>・上記の様なことから客層の中心は若者というより年配の熟年夫婦、などの熟年層とする。</p> <p>・宿泊客にはサービスとして苗場山の普段見えない月夜立岩と頂上大地から切り立って落ちる大岩壁を見ることの出来る場所へ案内する。</p> <p>宿についてはいろいろ述べて来ましたが、基本的にはそれぞれの宿に特色を持たせいろんなタイプのお客さんを集めたい、また宿で使う食材、各種備品、燃料などについても共用できるものを多く使い一括仕入れによりコストを安くする。などなど好きな事をこの機会に書かせてもらいました。全く根拠も薄い思い付きの様な事ばかりでダメですね。</p> <p>一番思う事はいらしたお客さんがまた来たいと思う事、それは料理や整った設備もそうでしょうが、それを上回るのが人だと思えます。</p>	
P13 再生可能エネルギーの利用	気候変動など村として地形を利用した村の誇れる取り組みを進め小さな自治体の魅力度数アップの取り組みが欲しい。それによって活気の展開を期待したい。	二酸化炭素排出量の削減対策として、地形を活かした小水力発電事業の取組みについて支援し地域活性化を図っていきます。
P14 健康と福祉	健康と福祉については、この分野の中で完結せず、産業、観光、教育（公民館活動）などの分野と連携することにより、村の施策を活用しながら予防医療を実践し、健康寿命の延伸に取り組んでもらいたい。	頂きましたご意見のとおり、各課等連携しながら村民の健康と福祉対策に取り組んでいきます。
P14 子ども福祉と母子保健	<p>①子ども福祉と母子保健</p> <p>・安心して出産し子育てできる環境整備を進めるため、地域と行政が連携して切れ目のない子育て支援を行います。 ⇒移住促進を進めるのであれば、緊急時に頼れる村内在住の祖父母や、親族がいない家庭に対しての支援が必要と考えます。</p>	保健師など気軽に相談できる支援体制を整えるとともに、新しい支援策についても検討します。
P15 健康増進対策	<p>3健康増進対策の中に、「歯科」に関する記述が必要ではないか？</p> <p>※健康に生活するには虫歯予防を含む歯科衛生が極めて大切だと思われる。</p>	第2部第2章第3節「1健康増進対策」の【施策の方針】において、特定検診及びがん検診に加え、歯科検診を追記するとともに、引き続き歯科検診にも力を入れていきます。

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
<p>P16 高齢者福祉と 社会参画の推進</p>	<p>高齢者福祉と社会参画の推進について、「生きがい」、「持てる力の発揮」、「生涯現役」が実現できる体制づくりを是非実現してほしい。 そのためには、ボランティア精神も必要だが、いくらでもお金になるような体制を構築してはどうだろうか。</p>	<p>「高齢者福祉と社会参画の推進」にあつては、福祉担当部局だけでなく公民館活動など各課等連携しながら取り組んでいきます。</p>
<p>P18~19 教育内容の充実</p>	<p>●幼少期 ・未満児保育や延長保育にも対応した保育士の適切な人員を確保し、保育内容の充実に努めます。 ⇒会計年度職員の保育士に関して、時給が無資格者、有資格者同額なので、そこを検証頂き、有資格者が村の保育園で働きやすい環境づくりもご検討頂きたいです。 ●学齢期 ・利用者が増えている学童クラブは、子どもが安全で楽しい放課後の時間を過ごすことができるように、指導員の確保と資質向上、環境改善を図っていきます。 ⇒指導員の確保、資質向上のためには、働くための環境(賃金、労働時間等)づくりも重要になると考えます。</p>	<p>保育園、学童クラブの内容の充実のためには、保育士、学童クラブ指導員が情熱をもって安心安心して働ける環境が大切だと考えます。安心して働ける環境整備、環境の改善を図っていきます。</p>
<p>P19 教育内容の充実</p>	<p>●学齢期の中に、地域資源の活用や地域住民との直接交流を充実させる、とあるが、16頁の高齢者の社会参画の一環として、連携した取り組みを行ってみてはどうか。 社会教育・生涯学習については、「栄村での暮らしを楽しむ」、「自然、歴史、文化を再認識する」ことを前面に押し出して、村内外の人的資源(高齢者福祉の分野と連携して発掘してはどうか)を、最大限活用した施策の展開を望む。</p>	<p>小中学校の「ふるさと学習」や、自然、歴史、文化等の生涯学習活動に高齢者を含む地域住民等の積極的な参画を求めています。</p>
<p>P19 社会教育・生涯学習</p>	<p>施策の展開 ⇒芸術活動についても広げていけるような施策があると、村民の豊かな生活につながっていくと思います。</p>	<p>村民一人ひとりが個性を発揮し生き生きと暮らしていくためにも文化、芸術活動の充実は重要です。各種講座、総合文化祭、音楽会等の開催や村内の芸術文化団体への活動支援等を行っていきます。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
<p>P20 歴史と文化の保全 ・継承</p> <p>P20 歴史と文化の保全 ・継承</p>	<p>3. 文化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひんご遺跡の出土品から縄文時代の早い時期から人が住んでいて、他の地域とも広く活発に交流していたと思われる。また村内に有る四十数カ所の縄文遺跡、地震後新たに見付かった「文書」の整理、希少動植物の対応、などなど専門的な知識が必要になってきているとおもわれる。そこで専門職の採用も是非必要と考えます。これからはきっと県や国からこういった文化面での指導も多くなると思えます。 ・昔の事を知って何が役立つとの考えもありますが、ずっとずっと繋がっている、昔からの積み重ねが今を作っているのだから昔を知り今に生かす事は大事な事。 ・ジオパークへの取り組みですが、苗場山麓ジオパークの推進室は津南町「なじよもん」に存在していて、そこで年間の活動計画などが企画され、予算も決められている。勿論現在も栄村からも定例会やイベントの時、担当者がなじよもんに出向き参加しているが、本来はなじよもん常駐して日々の活動から加わることが重要だと思う、そうでないと津南町側ペースで物事が進められてしまう、ジオが始まったばかりの頃は常駐者が居たのにそのうちに帰ってきてしまった。何が原因なのか？そこからの改善が必要、それと派遣者は事務職員と言うより専門職が良いと思います、一人でも意見の言える人を。ただ栄村がジオの事業に対して既に関心が無くどうしてもよいならはっきりと抜けるべきです、それにより日本ジオパーク協会の認定が取り消される事になっても。 ・ジオパークの基本理念は、子供たちに自分の住んでいる場所の地形や動植物、暮らしを勉強してもらい他所の人に胸を張って自分の故郷について話せるようになって欲しいと言う事。 	<p>小坂、横倉、長瀬新田、ひんごなど村内には多くの遺跡があり、石器や土器類の中で特に貴重と思われるものは栄村の文化財に指定し大切に守っていきます。文化財は栄村の歴史等を伝える「地域の宝」であり、誇りでもあります。その意義を共有しながら後世につなぐための調査・学習活動を等を進めていきます。</p> <p>栄村と隣接する津南町とは地形、地質、自然、文化など多くのことが共通します。この地域の特量的な自然、歴史、文化等を学び知ることによって地域の魅力を再発見し郷土への愛着と誇りが生まれ育っていくものと思います。そのための活動を津南町と連携し進めていきます。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
<p>P20 歴史と文化の保全 ・継承</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前述した文化財関係と同じ、子供たちだけでなく出来れば村人皆が自分の村について、その特徴を胸を張って話せるようになって欲しい。 ・ その為には一足飛びには決して出来ないので地道にまず集落の集会などを利用して機会在る毎にジオの話、文化財の話をする、などじっくりと諦めないで進める。皆のお茶のみ話として出て来る様になれば成功。 <p>学校教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年々小学校への入学児童数の減少それに伴い中学生の人数の減少は中々止める事は出来ない。 ・ その為校舎は今のまま小中分けたままでは非常に無駄な使い方だと思ふ、その為、小中を一緒に校舎にしてしまふ、またそこに保育園も付けて保育園から中学まで一緒に校舎で学ぶ。 ・ またその校舎には、高齢者のみなさんにも遊びに来て頂き大きな大きな家族の様な中で勉強中心でなく人と人の繋がり、昔ながらの遊びをとおして自分で考える力を養う。 ・ 子供たちに計画させて自分たちで準備をして自分たちで遊ぶそれを大人たちは大事に見守る。 ・ 栄村独自の教育と言って宣伝しても良いのではないか。 	<p>両町村民が自分の住んでいる良さを知っていただくため、定期的な学習講座の開催をジオカイド者等の協力を得ながら進めて行きたいと思ひます。</p>
<p>P20 歴史と文化の保全 ・継承</p>	<p>施策展開に次の項目を加える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旧石器時代以降の遺跡の学術的調査。発掘を積極的に行う。 <p>※ 村内並びに近隣の状況を鑑みると、地下にはまだ貴重な遺跡が眠っている可能性が高く、それらは栄村の存在価値や村民の誇りをいっそう高めてくれることになると考えられる。</p>	<p>多くの遺跡、遺物については、開発されず土の中での状態が望ましいとされています。既に調査された横倉、小坂、ひんご遺跡に関する学習講座を計画的に進めていきます。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
<p>P20 歴史と文化の保全・継承</p>	<p>歴史と文化の保全継承について 栄村でも、過去各所で遺跡の発掘がされ、貴重な石器土器が出ています。 旧石器においては、180000年前の人類が生きるために今あるものを使い 知恵と工夫で獲物を狩り、グループ（集落）の協力で世代を繋いできたようです。 今現在は、DIY機械器具はホームセンターへ、食料はスーパーへ行けばなんでもそろいますが 創意工夫が今後の栄村発展に繋がるように思います。 そこで栄村でも、石器時代から豪雪の栄村で人類がいたことを知ってもらい 今何をしたらいいのか知っていただきたいので 遺跡発掘の予算付けをして頂きたい。</p>	<p>小坂、横倉、長瀬新田、ひんごなど村内には多くの遺跡があり、栄村の文化財に指定し大切に守っています。ひんご遺跡に関する学習講座を計画的に進めていきます。</p>
<p>P22 公共交通</p>	<p>⇒越後湯沢駅～森宮野原駅のバスについて、時刻表の見直しをお願いしたいです。観光客が利用しにくい時間帯になっているので、改定前の時刻表に戻して頂きたいです。平日も7:08発は早すぎて利用しにくい時刻だと思えます。越後湯沢駅9:30 発だと、1泊2日でもゆっくり村内で過ごせると思えます。</p>	<p>財政支援と併せて利用者の利便性の向上を図っていきます。その旨を【施策の方針】に記載しました。</p>
<p>P23 情報通信</p>	<p>⇒LINE 公式アカウント登録しており、情報が分かりやすく助かっています。放送は聞き逃してしまうこともある（録音は途中で切れる）ので、LINEだと確実にチェックできて便利です。 検診のお知らせも画像で届くので見やすかったです。災害時にも活用できれば安心だと思います。ただ、広報に載せただけでは登録できない方もいると思うので、役場や、集落内等で広める必要はあると思います。私も会った人には勧めてみます。 ⇒移住を考える人が最初に見るのが村のホームページです。また、SNSも拡散するにはとても重要なツールになります。まず、村を知ってもらうために大切な手段なので、整備してほしいです。 ⇒ICT活用も大事ですが、全ての人が見られるケーブルテレビの検討をお願いします。</p>	<p>LINEによる情報発信について、村民に広めるための取り組みを進めていきます。 ホームページについて、引き続き整備を進め情報発信の強化を図っていきます。 ケーブルテレビ放送については、今までにも検討してきた経過があり、導入経費及び維持経費が多額であることから導入に至っていない状況です。必要性は高いと認識していますので、引き続き検討していきます。</p>

ページ・項目名	意見・修正等の内容	村の考え方
P27 集落支援と行政	<p>4年に一回の村民運動会も集落支援に一役買うことと思う。集落同士の理解や、行政との村民の距離を縮めるのでは？</p> <p>栄村の資源活用研究委員会が過去にあったが村の将来を見つめた村民会議なども必要ではないか？</p> <p>各施策の展開も村民の足元に届くよう期待したい。</p>	<p>村民運動会については、今後の実際の行政運営において検討させていただきます。</p> <p>集落それぞれ状況も課題や求める支援なども違うと思いますので、住民と話し合いその集落にあった支援と一緒に考えて行きたいと考えています。</p>
P44 行政運営	<p>村民一人一人の立場や思いになって頂く職員に期待しています。</p>	<p>職員の資質向上を図り、村民に寄り添える職員育成に努めます。</p>
その他	<p>広くみんなから意見、要望など聞き取るのであれば、これまで（前期計画）計画の実施状況、評価、問題点、改善点など具体的に示す必要があると思います。</p> <p>各章の現状・実態はどのようになっているのか、視覚で、分かりやすいデータや解説文を早急に作成し配布して欲しいと思います</p>	<p>毎年、計画に基づき事業を実施し、議会や総合振興計画検証委員会において、事業実績及び成果等の審議・検証を行っています。</p> <p>村民に対する分かりやすいデータや説明について、早急に作成し配布することは大変難しいことから、今後計画の進捗度や評価についてどのように村民に周知することができるか検討していきます。</p>
その他	<p>各章ごとにお聞きしたいとの思いが強いのですが、以下の2点の考え方をお聞かせください。</p> <p>イ) 人口減少の最大の問題・要因はどこにあると考えていますか？</p> <p>ロ) 基幹産業の農業。政府の進めている今日の農業施策をどのように認識していますか。その政策どおり実行していくと村の農業はどのようになると考えていますか。</p> <p>村の環境などを活かした独自の研究・検討が求められるのではないのでしょうか。</p>	<p>イ) 最大の問題は、若者と子どもが少ない事だと考えています。これは、日本の高度経済成長に伴う都市への流入と出生率の低下だと考えます。</p> <p>ロ) 国が進める農業政策について、当村のような小規模な農業地域にそのまま当てはめて、実行することは難しいと考えます。村の特色を生かし、消費者が望む食材を見極めながら、農業生産を進めることが必要であると考えます。</p>